

明るく 楽しく 支えあう ヒューマンネットワーク あすなる

わたしたちが 目指すまち

みんながコミュニケーションをとれるまち あすなる

- ・こどもも大人も安心して安全に生活できる、
活力あるまち
- ・誰もが困っている人に手を差し伸べられるまち
- ・みんなが交流を深め、まちづくりに参加するまち



あすなるくん

【地区の概況】

地区 の概況

区の中央部にあり地区の東側・北側を早淵川、南側を鶴見川に接している住宅地です。戸建て住宅が多くなっています。

人口等 の特徴

新吉田・新吉田あすなる地区の人口は、約 28,550 人、世帯数 13,050 世帯、平均世帯規模は 2.19 人です。(令和 2 年 9 月末現在) 20 ~ 39 歳の転入や、6 歳未満のこどものいる世帯が増加しています。高齢者の比率は区・市の平均よりも高く、特に高齢者の単身世帯が増加しています。(*人口・世帯数などの統計データは、新吉田地区と共通です)

3期計画の振り返り

◆今までの取り組み

「納涼福祉盆踊り」「防災訓練」「ふれあい運動会」の取組を長年継続し、交流を活発にしてきました。また、認知症高齢者の徘徊(ひとり歩き)を早期に発見し、事故なく保護する「さがしてネット」の活動に取り組んできました。

あわせて、新田中学校の生徒を対象に「認知症サポーター養成講座」を行い、認知症への理解をはぐくみ、助けあう関係性をつくっています。



◆地域の現状と課題

- ・高齢化率が高く、単身者の増加もあり、支援が必要な高齢者が増えています。
- ・若い世代の転入が増加傾向にあり、地域とのつながりづくりや未来を担う人材の育成が必要です。
- ・鶴見川流域に位置し、河川氾濫の危険が高い地域です。1人1人が風水害に備える必要があります。

計画推進の体制・振り返りの方法

- ・自治会町内会や地区社会福祉協議会、福祉活動団体等の代表者で構成する推進委員会を定期的に開催し、事業の実施や推進状況の確認を行います。また、必要に応じて委員会を設置します。

第4期の取組目標

- (1) より多くの方が、支援が必要な人への理解を深め、地域での見守りにつなげます。
- ・「さがしてネット」の活動を様々な世代に周知・啓発します。
 - ・また、拠点プレートの100か所設置を目指し、協力者を増やします。
 - ・中学生を対象とした「認知症サポーター養成講座」を開催し、地域での見守りの輪を広げます。
 - ・地域防災拠点訓練などで、障害の理解を深めるための取組(人形劇の依頼など)を継続して行います。
- (2) 健康づくりなどの様々な活動を支援し、住民同士の交流を進めます。
- ・屋外や少人数での活動についても検討し、健康づくりやサロンの活動を継続します。
 - ・あすなるさわやかスポーツ、夏祭り・盆おどり、運動会等の多世代が交流する機会をつくります。
 - ・またこども会との連携や交流を促進します。
 - ・掲示板・回覧板の活用とともに、若い世代へ情報が届くような仕組みを検討します。
- (3) 災害に備えた取組を充実させます。
- ・自治会町内会と民生委員との連携により、災害時要援護者名簿の共有や見守りを進めます。
 - ・要援護者からの意思表示がわかるような取組を、自治会町内会単位で進めます。
 - ・より多くの方が風水害の危険を理解できるよう、防災講座や拠点訓練を通じて情報を発信します。

これまでの地域の活動

さがしてネット

新吉田地区
との合同訓練



「徘徊かな？」と思ったら～
さがしてネット
～徘徊高齢者連絡所～

連絡所が不在の場合

昼間 新吉田地域ケアプラザ 592-2151
夜間 港北警察署 546-0110

メール配信
のご登録は
こちら



鶴見川の防災連続講座



国土交通省京浜河川事務所提供

認知症サポーター養成講座



活動に関する問合せ

◆ 新吉田地域ケアプラザ
TEL.045-592-2151
FAX.045-592-0105
HP.<https://www.y-kyousei.or.jp/sinyoshida/>



「ひっとプラン港北」に関する問合せ

◆ 港北区役所福祉保健課事業企画担当
TEL.045-540-2360 FAX.045-540-2368
Eメール ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp
◆ 港北区社会福祉協議会
TEL.045-547-2324 FAX.045-531-9561
Eメール info@kouhoku-shakyo.jp